

山内貢さんメール (2009年)

1月5日 初出

明けましておめでとうございます。清々しく新年をお迎えのことと新春のお喜びを申し上げます。昨年はアメリカ発のリーマンショックに世界中の経済は急降下し、我が国では政治も経済もパニック状態に陥り、厳しい年末でした。特に日本の生命線である、輸出産業界にあっては、ポディーブローが大きな打撃となり、国全体に深刻な影響を及ぼしていますが、今は極度に先行きを悲観視することよりも、幸いにして、顔面は無傷で大丈夫だと思える方が良いのでは！新しい年に期待と希望を見いだす為にも！今年は丑年、牛の内面は意志が強く一步一步踏みしめて、力強く歩く姿から根性の動物と言われています、牛にあやかりて今年が良い年でありますように祈念して。…「**初詣神を尊び願を掛け**」…2009年元旦 = 年賀 = …

== 山内貢☆☆☆

1月23日 大寒

おはようございます。今日は「大寒」です、正月5日の小寒から2月3日の節分までを「寒の内」と言っています、従って大寒は、「寒の内」の真ん中で最も寒気の厳しい時期とされ、この寒気に抗して、武道では種々の寒稽古や水に浸かって、「大寒襖ぎ」(みそぎ)で心身の鍛錬など行う一方で、私達の日常生活では、食べ物の凍り豆腐、寒天、酒、味噌や醤油などが寒気を利用して、この時期に仕込まれます。他にも「寒ざらし」や干し柿等々、私達の食生活を支える最も重要な寒季です。今日では、うまみを引き出す「寒さ」を利用した日本の伝統的製法に海外からも注目されています。寒さと旨味の関係については省略しますが、寒気の中から生み出される日本の伝統食に、改めて感心させられます。そんな寒の季節もあと僅か、何処とも寒が明けると「立春」、白梅や紅梅が咲き初め、温暖な地方では柳が芽吹き、春はそこに覗けます。乗じて我が世の春も謳歌出来ますように祈念して = …「**経済に寒の季節は不要ない**」 = =

== 山内貢☆☆☆

2月3日 節分

おはようございます。今日は暦の上では冬の終わり、「節分」です。「鬼は外・福は内」と呼ばわりながら、今宵に「豆蒔き」をしているでしょうか？近年忘れ去られようとしている「節分」の行事など、一寸振り返って見よう*「節分」になぜ豆を蒔くのか？古くは中国で始まった、追難(ついな)と言う行事、日本へは飛鳥時代、(文武天皇)のころ伝わったと言われています。「邪気」(災害・疫病・飢餓)を祓う行事として、(平安時代)から「宮中の行事」として始まったもの、その一つが豆まきでした。庶民の間に広まったのは、江戸時代になってから、当時の人達は豆や果物には、霊力があると信じられていて、豆を蒔くことで豆の霊力が「邪気」を払い、福を呼び込むと考えられたものです。又「鰯(いわし)の頭も信心から」と言いますが、節分に鰯の頭を焼いて、ヒイラギの枝に刺し、玄関先に差す風習など…*これは鰯の頭の悪臭で、邪気が家に入るのを防ぐとされたものだが！「邪気」も悪臭は苦手なのかなあ~*その外*全国には珍しい風習が数多くありますが、群馬県の鬼石町は「全国から閉め出された鬼を迎えてくれる町」全ての家庭で「福は内・鬼も内」の大らかな町とか！又奈良県は吉野・蔵王堂の節分会も「福は内・鬼も内」と唱え全国から追い払われた鬼を救い、仏門に帰依させるそうだ！ご奇特な方ばかりで羨ましい…*「恵方巻きを食べる」*夜にその年の恵方(吉方位の歳徳神が在る方位)に

向って、太巻きを丸かぶりする。近年になって関西の商人達が考え創り出した行事だが、七福神に因んで七種の具材をいれた太巻きを食べて、「福を巻き込み・福を食べる」と言うもの！…今夜恵方巻きをかぶられる方には念の為に、今年の恵方を…*2009年の歳徳神が位置する、恵方は東北東です。鬼門は北東ですから、暮々も方位をお間違いのないように…。☆♫「**陰陽道五行説を信じてね**」=…◎
== 山内貢☆☆

2月11日 建国記念日

おはようございます。今日は、「建国記念の日」戦前の「紀元節」明治以降は国民の四大節の一つで最も重要な祝日でした。愛国心に満ちた時代と言うか！愛国心を育て、養う教育を受けた国民が多く、国家のために正義を旨として生きた時代が懐かしい…と！回顧するだけでは済まされなくなった現代の日本です。若者を中心に、心の崩壊が顕著となっています、これで良いのか！祖国の将来に大きな疑問を残す現代社会です。個人の誕生日はハッピーと祝っても、国家の誕生日を心から祝福出来る国民は如何ほど居るだろうか？…今、家庭の崩壊から社会の崩壊へ、そして国家の崩壊へと、駆け足で進んで行くでしょう。誰が悪い訳でもないが、豊かな経済生活に浸たり暮らせば、心は崩壊し、耐貧生活社会に陥れば、心は充実するだろう。その日が来るのを待つのか！現状を立て直すのか！その選択肢は現代の私たちの考えに掛っています。「建国記念の日」の今日は、国旗掲揚のお勧め迄で…。「**祝日に祝意を表す日の丸を**」。…

== 山内貢☆☆

2月24日 田母神元航空幕僚長の講演会

おはようございます。一昨日の日曜日22日に、松山道後で田母神元航空幕僚長の講演会がありましたので、参加させて頂きました、講演の中身も素晴らしく、加えて記憶力の凄さにも驚きでした、防衛大学のエリートが航空幕僚長になるだけの器は話の中味からも十分に伺えるものでした。又人間的にも優れ日本人の見本とも思えた次第です。久々に満足感を味わえた講演会でした。記念に写真をとらせて頂きましたので添付いたします。「**国防の真意は何か彼に聞け**」(政治家のお粗末が良く解ります)

== 山内貢☆☆

3月20日 春分の日

おはようございます。今日は何の日！春季皇霊祭であった日、明治初期から昭和20年(大東亜戦争終結時)までは「春季皇霊祭」という国家の祝日でした、第二次大戦後は国民の祝日に生まれ変わって、春分の日と改称され「生物をたたえ、自然を慈しむ日」とされた祝日です、さて私たちの住む地球上には、何百万種とも言われる生物が生存していますが、自然の恵みと生物の生存に欠かせない天体は、なんと言っても太陽の偉大な存在であります。春分の日その太陽が、赤道を交差する日に因んで、改めて太陽の偉大な力を感じてみよう。地球上から天を仰ぐと、月と太陽はほぼ同じ大きさに見えますが、それは距離の違いによることは周知通りであります、(地球からの距離)月は約38万km、太陽は約1億5000万kmに位置する天体、したがって太陽の大きさは月の400倍、地球の109倍もあり高熱で燃える、炎の物体は直径1400000kmもあるとは想像し難いものだが！50億年も前から明かりや高熱など(放射能や紫外線も含まれる)を放出し続けています、その恩恵に欲しているのが、私たちの住む地球上の生物ではないでしょうか、その恵みを受けている地球が今、人間のエゴによって温暖化など、

自然破壊を進捗させ、自滅を招いています、春分の日趣旨に逆らわず、今日は生物は全てたたえ、自然を大いに慈しみましょう、春分の日を機に☆「**大自然宇宙に絡むこの星を**」☆

== 山内貢☆☆☆

5月3日 憲法記念日

おはようございます。今日は憲法記念日です、昭和22年、戦後の占領軍、マッカーサー司令部の関与によって誕生した、日本国憲法だが60数年が経った今日に至るも、何一つとして改正しない憲法なんて！正常だろうか！グローバル化した国際社会の中で、対応仕切れない不都合が生じているにも拘わらず、最近の北朝鮮、中国、ロシア、など近隣諸国の軍拡、無謀な振る舞いに対応出来るだろうか？取りも直さず「九条」の改正が急務ではなかろうか。幸いにして憲法改正手続きに必要な、国民投票法案が二年前に成立しています、今年は、その投票の実施年度であります、国民の三分の二の賛成が必要です、(18才以上)大いに関心を示されますようご期待致します。「**国民が国を動かし日の目見る**」◎

== 山内貢☆☆☆

6月21日 夏至

おはようございます。春分の日から起算して太陽黄経が丁度90°地点に達した、今日は、「父の日」の付録もついた「夏至」であります。一年中で日中時間が最長であると同時に、太陽の高度角も一番高く約80°四国地方となることから、日差しも一段と強くなります。したがって「夏至」の前後は紫外線が最も強い時期でもあります。時間帯はAM11:00~PM2:00頃までがピークです。紫外線を浴びるのは、晴れの日と思いがちですが、結構曇っている日も紫外線を浴びています。ご承知のように地球の周り、約20~50kmほどの成層圏に存在する、オゾン層によって、有害な紫外線の(uva、uvb、uvc)の多くが吸収され、地上の生態系が保護されていますが、近年では冷蔵庫やクーラーなどの冷房機、プリント基板の洗浄剤として使用されてきた、フロンなどの塩素を含む化学物質が大気中に排出され、成層圏で塩素原子が増加し、オゾン層の破壊が進んでしまっています。気象庁の観測では、日本の上空においても、オゾンの減少傾向が確認されています。このままオゾン層が破壊され続けば、地上に有害な紫外線が増え、皮膚癌や結膜炎などの被害が増加するものと思われます。日差しが強くなる夏至の日を機に、傘、衣服、サングラス、日焼け止めの化粧品など、紫外線カットにも少々気を使いながら、今年の夏を健康で、快適に過ごされますようご祈念申し上げます。…「**悔れぬ梅雨の空にも紫外線**」==

== 山内貢☆☆☆

7月20日 海の日

おはようございます。今日は土用の入り、以前にも述べましたが、土用は「春夏秋冬」各季節の終りに、18~19日間を割り振った期間です。従って土用は年4回あり、トータルで72日間(18×4=72)あります、現在では夏土用の18日間のみが土用と認識され、広く国民に浸透しています。土用の入り日は二十四節気などと同じで、太陽の位置(視黄経)を基準として決まっています、土用入りの太陽視黄経:春27°夏117°秋207°冬297°点となり、従って今日は117°点の夏土用の入と言うことになります。夏土用と言えば丑の日の、うなぎ=蒲焼きの匂いがイメージされる程、夏土用は私たちの日常生活の中に定着しています。今年は珍しく土用の入りと「丑の日」が重なっています、従って「2の丑」が7月31日となることから、今月は「うなぎ」の大量消費月となりそうです、これも暦がもたらす、うなぎ消費の経済効果の最たるものと言えるのでは?…因みに7月は「うな

ぎ」の生産地、台湾からの入荷量は、通常月の二倍に当たる約 800 トン、国内産など含めると大変な数量です。経済に及ぼす成果の程はともあれ、先ずは夏バテ防止の一助に、今日と月末の「丑の日」には「うなぎ」の力に、あやかってみては如何でしょう。昔なつかし蒲焼きの匂いを想い起こしながら…。

「蒲焼きとうちわは夏の風物詩」。

＝ 山内貢☆☆

8 月 18 日(火)

おはようございます。今日は衆議院議員選挙の公示日です、今回の解散総選挙は政権選択選挙とも言われ、最も重要な選挙となっておりますが！只政権だけを欲しがる民主党議員のように、与党行政府の政策に反対する事のみを本分としたり、無意味な国会での論議に終始するだけの、政党選びは考えましよう、ご承知ように今回の選挙予想では！その民主党が、つまらぬマスコミ報道などを追い風に、有権者の付和雷同を招いています。加えて手品師のような「マニフェスト」を公約と称して、(財源の確保も確証も見通しもない)無責任な小手先のバラまき公約を掲げて、国民を欺き、国家の政治戦略構想のように思っています。誠に情けなき現実であります。国家の重要政策の第一は、外交、防衛、安全と言う国策の根幹となる、理念とビジョンであります。現在の民主党に、この理念があるようには思われません。又左右思想寄り合い所帯の、政党に、国家の重要な政策の方向や立案の決定など出来るだろうか！国際的危機に曝されている、現在の日本、特に昨今では北朝鮮、中国

、ロシアと言った近隣諸国の脅威は日増しに増大しています。こうした日本の実状をどのように把握しているのだろうか！、明らかな内政干渉や領土の問題、拉致や核兵器等の問題が山積しています、こうした重要課題に的確に対処出来るだけの、方策や能力を持ち合わせてるのだろうか？、又平和の裏には脅威の国力が必要である事も認識しているのだろうか！、現況の日本は疑問符だけでは済まされない、窮地の危機に曝されています。近々の世界情勢から見ても、かつての東西間の冷戦時代より、遥かに今日の日本は非常に危険な時期に直面しています。従来のようにアメリカ頼みの、おんぶに、だっこの国防の時代は通用しなくなりつつあります。真の独立国家の重要な基本は何にかを、お互いにしっかり考え、「8 月 30 日」の投票日には、枝葉末節は一応棚上げにして、現在～将来の日本、子々孫々の世も考え、国策重視で国民主権を大いに行使しましょう。…～「**興国の興廃憂うこの選挙**」＝…。

＝ 山内貢☆☆

8 月 21 日(金)

おはようございます。一昨夜の同伴例会に於いて、締め口のロア一発声前に、相馬先生が遠慮がちに言った、言葉の重みをしっかり受け止めて欲しいと願うものであります。先般の＝でも少し触れましたが、今日本に襲いかかろうとする危機は多岐に亘りますが、極めて重大なものが三つあります。一つは、北朝鮮・中国の核・ミサイルを含む軍事的脅威、二つ目は米・中密着が齎す日米同盟の形骸化、最後は保守崩壊の危機です。「保守」とは政党や政治家の色分けの言葉ではありません。日本の歴史、伝統、文化、日本人の心性、日本の国柄に軸足を置き、そこから我が国の将来を展望し、国民の安全と繁栄を求め姿勢であり、心象です。日本を忘れて日本はありません。日本人依って立つところ亡くして、日本人はありません。「**囲碁将棋一目にし大敗す**」

＝ 山内貢☆☆

11月3日 文化の日

おはようございます。「今日は文化の日」ですが、今も日本の良き伝統文化が守られ継承されているだろうか！聊か疑問符の付くところでもあります。今年はNHKの大河ドラマ「天地人」では戦国時代の武士や武将の生きざまを見せてくれました。日本の伝統文化の根源の一つに、武士道精神の存在を強く感じたものであります。今年は引き続いて、今月(11月)29日(日)からスタートする、スペシャルドラマ「坂の上の雲」が年末まで五週に渡って、第一部が放映されます。このドラマの原作者は、ご承知のように「司馬遼太郎」が10年の歳月をかけ、明治と云う時代に立ち向かった青春群像を、渾身の力で書き上げた、壮大なスケールの力作です。ドラマの第一部では、愛媛県人である正岡子規や、秋山兄弟が、ドラマの主人公として登場します、当時の伊予文化にも触れることができます。ご存知のように正岡子規は近代文学の創始者として名高く、現代の若者達にまでその名を馳せていますが、方や秋山兄弟の偉大な存在は、案外知られていないのでは！特に

(弟)秋山真之は、日本の存亡をかけて戦った日露戦争に於いて、「東郷平八郎元帥」率いる連合艦隊の作戦参謀としてその手腕を発揮し、ロシアのバルチック艦隊を撃破し、日本に勝利を齎した、日本海海戦は有名であります、同時に当時の日本の底力と意気込みを世界の強国に知らしめ、認めさせた、日露戦争勝利の立て役者であります。明治という時代も、今の日本と同じように、新たな価値観の創造に苦悩、奮闘した時代です。その精神こそが我が国の伝統文化の真髄ではなからうか！明治と云う時代に活躍した若者の群像から学び得るものが多々あるものと思われま。敢えてこのドラマ番組の視聴をお勧めして、文化の日のメッセージといたします。 **「文化の日戦渦で消えた明治節」…**

== 山内貢☆☆

12月6日(日)

おはようございます。昨年末からの経済不況から脱出の見通しも、有効手段も見えない儘に、今年も師走を迎えました。悠々自適の越年とは言い難い一年間となったのでは！国も地方もそして大～小企業に至るまで、厳しい財政、経済状況は、現民主党政権下では、俄かな回復など望む方が、惨めな思いを助長するに過ぎないように思われます。国民が選んだ政党、政府ですから自らに振りかかることも、自業自得の行為だと達観視出来る人も居るかも知れませんが、私は現状の政治を極々憂う者であります。政治の哲学や理念も持たず、只闇雲に国民の機嫌取りに終始した、パフォーマンスに過ぎないと思っております。明治維新から明治と言う時代を駆け抜けた、先人達が世界に勝る国家の存続に挑んだ、その気甲斐を学んで欲しいものであります。丁度機を逸にして、先週(日)から始まったNHKのスペシャルドラマ「坂の上の雲」を視て頂ければ、国家や国民の在るべき姿とは！何かが良く解ると思われま、再度お勧めしたい番組です、素直に視て頂ければ幸甚至極に存じます。

なを放映時間は、NHK総合では毎週日曜日20時から、同日BS-2では午後10時から再放送があります、加えてその週の土曜日、昼間ですが午後1時から再放送があります、師走の多忙を排して是非ともご必見あらんことを。…**「この国の明日が読めない民主党」**

== 山内貢☆☆